

騒音振動表示収録装置

取扱説明書

SVD-110

(単管取付モデル)

(Ver 1.00)

株式会社 **ソテック**

ヘッドオフィス：〒532-0003

大阪市淀川区宮原5-1-18 8F

TEL 06-6396-2327 FAX 06-6396-5746

<http://www.sotec-web.co.jp>

E-mail: s-v@sotec-web.co.jp

本器を使用する前に必ずこの取扱説明書をお読み
ください。
注意事項を守って製品をご使用ください。

機器保管時のお願い

本装置は1ヶ月以上電源を供給しないと、内部で使用している騒音計・振動計の設定がリセット（初期値に戻る）され、表示装置として正常に使用できなくなりますので、保管時は必ず1ヶ月周期で24時間の通電作業を実施してください。

目 次

――― 機器保管時のお願い ―――

設置上の注意	――	1
使用上の注意	――	3
操作上の注意	――	5
装置の組立手順	――	6
各部の説明	――	7
取扱説明書		
・ 設置・準備・自動測定・書込開始・書込停止 データ転送・再測定	――	12
・ 設置・準備・手動測定・書込開始・書込停止 データ転送・再測定	――	14
・ 設置・準備・24時間連続測定・書込開始・書込停止 データ転送・再測定	――	16
・ 自動測定－手動測定への切替	――	18
・ 手動測定－自動測定への切替	――	18
・ 時刻情報収録について	――	18
・ 騒音計の初期値設定及びケーブル接続	――	19
・ 振動計の初期値設定及びケーブル接続	――	20
総合仕様	――	21
故障		
・ 測定時間なのに測定を開始／停止しない	――	23
・ 測定時間内なのに [書込中] ランプが点灯しない	――	24
・ 測定時間内なのに [開始] ランプは点灯するが [書込中] ランプが点灯しない	――	24
表示装置 (本体) 外観図・寸法図	――	25
全天候防風スクリーン組立方法図 (リオン社製)	――	26
単管アダプタによる全天候防風スクリーン取付図 [オプション]	――	27
ピックアップカバー外観図	――	28
子機表示器 (屋外用・本体) 仕様／外観図	――	29
子機表示器 (屋外用) スタンド取付外観図	――	30
子機表示器 (単管仕様・屋外用) 外観図	――	31
マイクロホンケーブル、ピックアップケーブルの ドラムによる延長方法	――	32
警報端子について	――	33

設置上の注意

- 1 SVD110 は単管パイプを利用して設置固定します。
単管パイプは風や外的要因で転倒しない様にワイヤー等で必ず固定してください。
- 2 SVD110 本体を地面上に設置する場合は必ず 40cm 程度、地面より浮かせて固定してください。
- 3 全天候防風スクリーンの取付は単管パイプを使用し固定します。
基本的に高さは地面より 1.2m ~ 1.5m で、塀等遮蔽物がある場合はそれよりも高く設置してください。
また壁内側に設置する場合は反射の影響ありますので 3m 程度壁から離して設置してください。
全天候防風スクリーンは“天”に向けて固定してください。
- 4 ピックアップは水没しないように現状の土を盛り土し硬く踏み固めた上に設置します。ピックアップカバー（オプション）を取付け、杭等で 4ヶ所を固定してください。ピックアップケーブルはケーブル取り出し口を経由し通線してください。

長期間設置の場合はセメントで現状の土の高さよりも高く土台を作り（500 × 500 × 200 (h) mm ~）その中にピックアップを設置しピックアップカバーを取付けアンカーボルトで 4ヶ所を固定してください。
ピックアップケーブルの中継コネクタ部分はビニールテープを巻き付けて敷物を敷いた上に置き、水が冠水してもコネクタが濡れない様に設置してください。

- 5 マイクロホンケーブル・ピックアップケーブルは標準ケーブル（騒音 5 m・振動 3 m）以外のケーブルを使用される場合、落雷が頻繁に発生する場所では、ケーブルは必ず金属製の保護管を使用し設置してください。
- 6 屋外では、なるべく直射日光の当たらない場所に設置してください。
（温度湿度圏を超えた場合は正常な動作をしない事があります）
- 7 マイクロホン延長ケーブルやピックアップ延長ケーブルをドラムを使用し、屋外に設置される場合は必ずドラムの上部より厚手のビニール袋を全体的にかぶせて雨がドラム内に入らないように対策を施してください
またビニール袋内側は定期的に除湿をお願いします。

- 8 本体に供給する AC100V 電源は電圧変動が少なく停電、瞬停しない路線より供給してください。
発電機での使用は電圧変動、負荷変動が大きい為禁止とします。
- 9 本器に付属しています AC100V 電源ケーブルは長期間ご使用の場合は使用を中止し、直接配線でのご使用をお勧めします。(漏電防止)
- 10 本体内部に精密機器が内蔵されています、設置時、落下・衝撃に注意してください。
- 11 落雷を受けそうな場所に設置される場合は、必ず避雷針を本器の近くに取付、落雷を防止してください。
- 12 本器は必ず接地してご使用ください。

使用上の注意

- 1 USB メモリは当社の純正品をご使用ください。他の USB メモリを使用し書込が不安定でも当社は責任を負いかねます。
- 2 測定データの回収は出来るだけ1週間周期で行ってください。
1ヶ月等の周期での回収も可能ですが、停電等不慮な事故で測定データが欠損されますと後の処理が大変です。
- 3 「警報出力」端子には、測定中は通電されています、感電に注意してください。
- 4 電源ケーブルが接続されているときに濡れた手で本器に触ると、感電の原因となります。
- 5 本体内部に水などの液体や異物を入れないでください。
- 6 下記の状態になりましたら、本器の「自動測定／手動測定」スイッチ⑩を「手動測定」に切替「停止」のボタン⑪を押し、「書込中」ランプ⑫が消灯、「測定待機中」ランプ点灯後、本器の[POWER]スイッチ⑬を「OFF」にし AC100V ランプ⑭の消灯を確認後、元電源もただちに切ってください。

- ・ 本体から煙りが出たり、異臭がしたりする
- ・ 本体が手でさわれないほど熱い
- ・ 本体内部から異音がする

- 7 本体に供給する AC100V 電源は停電しない電圧変動の少ない路線より供給してください。
特に解体や建設現場では使用する機械（工具）の使用時に一時的に供給電圧が下降する場合がありますので特に注意してください。
（タイマー測定時に停電（瞬停や電圧降下）が発生した場合は停電時間＋3分間程度はデータはメモリーカードには記録されません、収録時間帯によっては10間値が記録されない事もあります。又、手動測定時停電や瞬停が発生するとその時点で測定は中止となり、再度「開始」操作をしないと測定の継続はしません）
発電機での使用は電圧変動、負荷変動が大きい為禁止します。

- 8 設置場所が0℃以下に気温が下がる場合は測定時間外でも「POWER」スイッチ⑩は「ON」の状態にしたままタイマーでの操作で待機して下さい。
「POWER」スイッチ⑨を「OFF」にされますと「POWER」スイッチ⑨を「ON」後、本装置が正常動作になるまでにかかりの時間がかかります。
- 9 本装置の保管時、騒音計・振動計の通信設定が初期値に戻ります。
設定を保持する為に1ヶ月に1回24時間程度、通電をお願いします。
- 10 当社の騒音振動処理ソフトを使用し解析する場合は、ソフトに付属の【SVD-110ソフト動作認証用プロテクトUSBキー】をPCに必ず接続してください。
※この【SVD-110ソフト動作認証用プロテクトUSBキー】がないとプログラムが動作が出来ません。
※動作認証用USBキーをPCに接続する前に、ドライバーソフトをインストールして下さい。
(詳細はソフトの取扱説明書をお読み下さい)

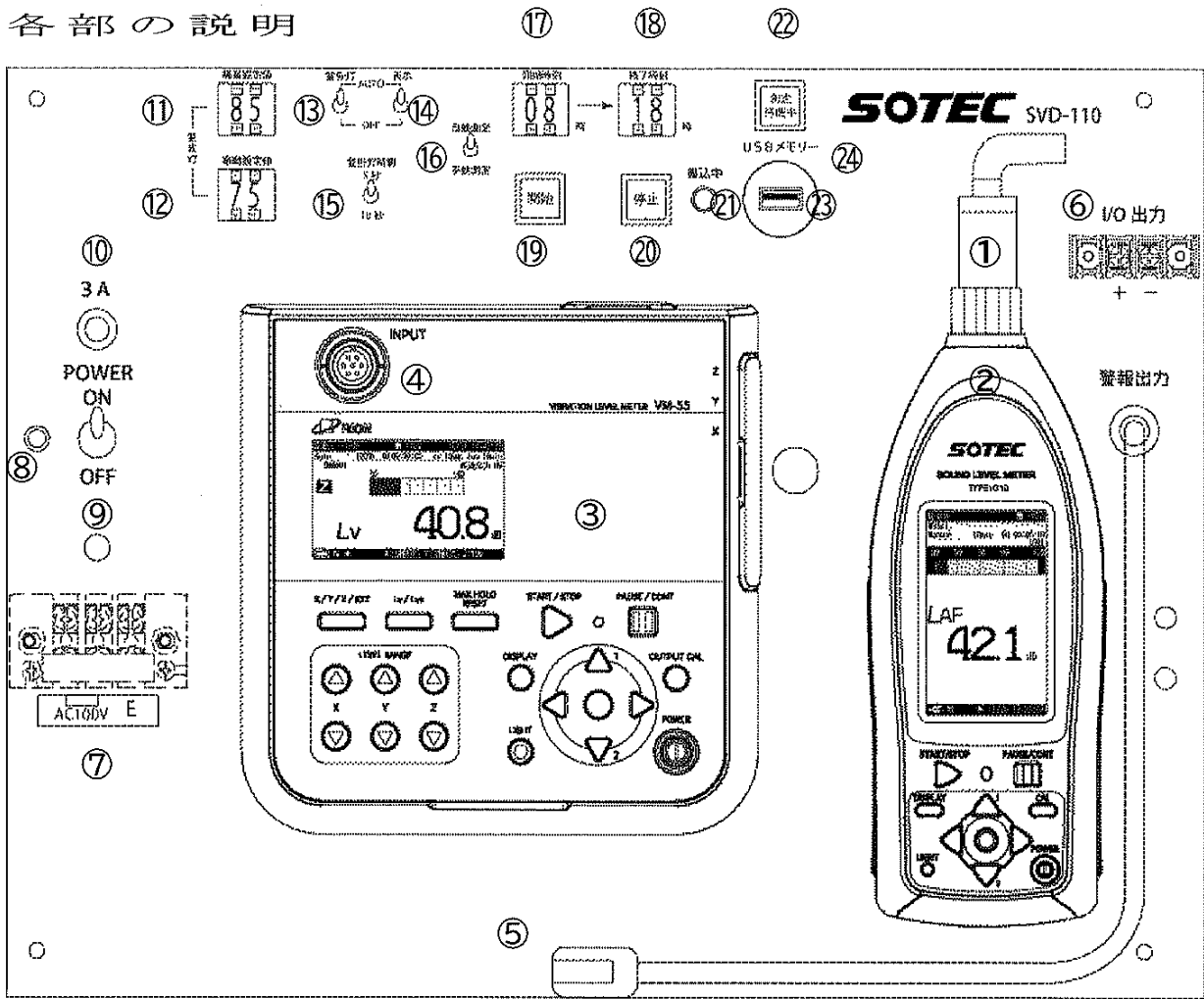
操作上の注意

- 1 本装置を表示だけで使用する場合も、必ずデータ収録用USBメモリは収録装置に装填し、データ収録用USBメモリの初期化の作業をお手持ちのパソコンで行ってください。
データ収録用USBメモリを機器に装填しないで使用されますと、装置が動作不安定になります。
- 2 測定中にデータ収録用USBメモリの抜き取り等をされますと、その時点からのデータはメモリに記録されません。
停止する場合は「自動測定／手動測定」スイッチ⑩を手動測定に切替「停止」のボタン⑳を押し、「書込中」ランプ㉑が消灯、「測定待機中」ランプ点灯後、本器の「POWER」スイッチ⑨を「OFF」にしAC100Vランプ⑧の消灯を確認後、USBメモリの抜き取ります。
- 3 内部の騒音計・振動計のスイッチ類は絶対にさわらないでください、操作されますと測定値に誤差が生じます。
- 4 初回に設定した「騒音設定値」「振動設定値」、「開始時刻」「終了時刻」の条件を変更する場合は必ず本器の「自動測定／手動測定」スイッチ⑩を「手動測定」に切替、「停止」のボタン⑳を押し、「書込中」ランプ㉑が消灯、「測定待機中」ランプ点灯後、本器の「POWER」スイッチ⑨を「OFF」にしAC100Vランプ⑧の消灯を確認後、条件の変更をした上で再度「POWER」スイッチ⑨を「ON」にしてください。
- 5 測定中は定期監視を行い機器が正常に動作している事をご確認してください。

装置の組立手順

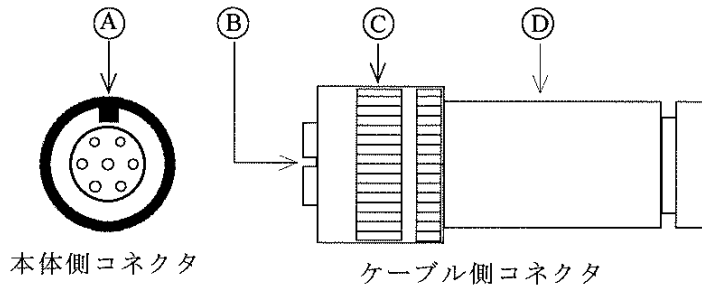
- 1 SVD110 を設置する場所に単管パイプを設置し、固定します。
- 2 「POWER」スイッチ⑨は「OFF」の状態にしておき、電源（AC100V）を装置に供給してください。
長期間ご使用の場合は直接配線でご使用ください。（漏電防止）
発電機での使用は電圧変動、負荷変動が大きい為禁止します。
- 3 マイクロホンを全天候防風スクリーンの内部に収納、単管アダプタに取付・設置、全天候防風スクリーンは天に向けて固定してください。
マイクロホンケーブルの反対側は装置内部の騒音計のマイクロホン端子①に本体底面のゴムブッシングを経由し接続してください。
- 4 振動ピックアップを付属のケーブルで接続しピックアップカバー内に収納し設置します。
ピックアップケーブルの反対側は装置内部の振動計の「Input」端子④に底面のゴムブッシングを経由し接続してください。
（軟弱な土の上に設置する場合は、ピックアップが冠水しない程度盛土し踏み固めます）コネクタ接合部分はビニールテープを巻き雨水に浸らないようにしてください。水没は故障の原因となります。
- 5 電源（AC100V）を装置に供給してください。
発電機での使用は電圧変動、負荷変動が大きい為禁止します。

各部の説明



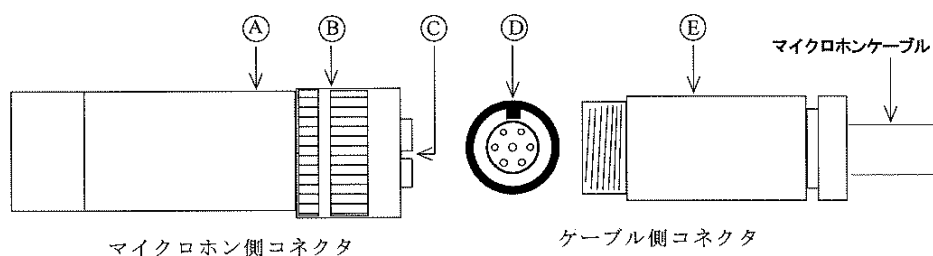
- ① 「マイクロホン」 接続端子
 マイクロホンケーブルを接続しケーブルの反対側にマイクロホンおよび全天候型風防スクリーンを取付けてください。

“本体側マイクコネクタ接続方法”



- ・騒音計本体側のコネクタにケーブル側コネクタを挿入し、(D)部分を持って廻しますと(A)の出っ張り(B)の溝が合致しそれ以上回転しなくなりますので、(C)の部分を持って時計方向に廻し締め付けます。

“マイクロホン側コネクタ接続方法”

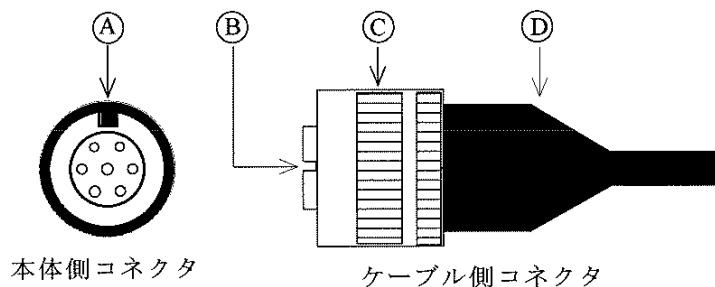


- ・マイクロホン側コネクタにケーブル側コネクタを挿入し、(A)の部分を持って廻しますと(C)の溝と(D)の突起が合致しそれ以上回転しなくなりますので(B)の部分を持って廻し締め付けます。
- ・全天候風防スクリーンの組立方法は P.28 に記載してあります。

② 普通騒音計が取付けてあります。

③ 振動レベル計が取付けてあります。

④ 「Input」 接続端子（振動レベル計）
 ピックアップケーブルを接続しケーブルの反対側にピックアップを取付、ピックアップカバー内に収納し設置してください。



- ・振動レベル計本体側のコネクタにケーブル側コネクタを挿入し、(D)部分を持って廻しますと(A)の突起と(B)の溝が合致しそれ以上回転しなくなりますので、(C)の部分を持って時計方向に廻し締め付けます。

- ⑤ [警報出力 (騒音)]
[警報出力 (振動)]
「騒音設定値」⑪の設定値を表示値が超えると「警報出力」端子間⑤「騒音」に直流 24 V が出力されます。指示値が直ちに設定以下になれば (10、5) 秒後に直流 24 V の出力は停止します。継続して設定値を超えている場合はその間、直流 24 V を出力します。
「振動設定値」⑫の設定値を表示値が超えると「警報出力」端子間⑤「振動」に直流 24 V が出力されます。指示値が直ちに設定以下になれば (10、5) 秒後に直流 24 V の出力は停止します。継続して設定値を超えている場合はその間、直流 24 V を出力します。
- 「警告灯」スイッチ⑬と連動し、「警告灯時間」スイッチ⑮とも連動です。
- ⑥ [I/O 出力] 端子
騒音・振動の 1 秒毎の瞬時値を RS422 で出力しています。ケーブル延長 1km まで。子機表示器に接続することができます。
- ⑦ [AC100V] 入力端子
AC100V 供給端子です、停電や瞬停のない安定した電源を供給してください。
「E」接地端子です、必ず接地してご使用ください。
- ⑧ [AC100V] ランプ
本器に電源が供給され、「POWER」スイッチ⑨を「ON」にすれば点灯します。
- ⑨ [POWER] スイッチ
「ON」本器が動作します。「OFF」本器が停止します。
- ⑩ [FUSE] ミゼットヒューズ「3A」を使用しています。
- ⑪ [騒音設定値] (設定範囲：20～99dB、1dB ステップ)
騒音の警報をどの値で出力させるのか設定します。
「騒音設定値」を超えると「警報出力」⑤の「騒音」の端子間に直流 24V が出力されます。
- ⑫ [振動設定値] (設定範囲：20～99dB、1dB ステップ)
振動の警報をどの値で出力させるのか設定します。
「振動設定値」を超えると「警報出力」⑤の「振動」の端子間に直流 24V が出力されます。
- ⑬ [警告灯] スイッチ
AUTO：「開始時刻」スイッチ⑰の時刻で回転灯の動作を開始、「終了時刻」スイッチ⑱の時刻で回転灯の動作を停止します。「手動測定」時も同様です。
OFF：「開始時刻」スイッチ⑰の時刻及び「終了時刻」スイッチ⑱の時刻に関係なく常に点灯しません。「手動測定」時も同様です。

- ⑭ [表示] スイッチ
AUTO : 「開始時刻」スイッチ⑰の時刻で表示を開始、「終了時刻」スイッチ⑱の時刻で表示を停止します。「手動測定」時も同様です。
OFF : 「開始時刻」スイッチ⑰の時刻及び「終了時刻」スイッチ⑱の時刻に関係なく常に表示はしません。「手動測定」時も同様です。
- ⑮ [警告灯時間 5秒/10秒] スイッチ
警告灯及び「警報出力」⑤の動作時間を切替えます。
- ⑯ [自動測定/手動測定] 切替スイッチ
自動測定 : 「開始時刻」⑰「終了時刻」⑱の設定時間帯で動作します。
「開始/終了時刻」を同時刻に設定すれば、24時間連続測定になります。
手動測定 : 「開始」「停止」のボタンスイッチで開始・停止します。
- ⑰ [開始時刻] スイッチ
開始時刻になると、表示及び USB メモリーにデータの書込を開始します。
- ⑱ [終了時刻] スイッチ
終了時刻になると、表示及び USB メモリーにデータの書込を停止します。
- ⑲ [開始] スイッチ兼ランプ
「手動測定」時この「開始」ボタン⑲を押せば内部のランプが点灯、表示及び USB メモリーにデータの書込を開始します。
「自動測定」時も同様のランプ動作となります。
このスイッチはタイミングの関係で2秒程度押し続けないと動作しない場合があります。
- ⑳ [停止] スイッチ兼ランプ
「手動測定」時この「停止」ボタン⑳を押せば内部のランプが点灯、表示及び USB メモリーにデータの書込を停止します。停止後「書込中」ランプ㉑が消灯「測定停止中」ランプ㉒が点灯し「POWER」スイッチ③を「OFF」すれば USB メモリーの取り外しが可能です。
「自動測定」時も同様のランプ動作となります。
自動測定時での終了時も「自動測定/手動測定」切替スイッチ⑯を手動測定に切替、この「停止」ボタン㉑を押します。停止後「書込中」ランプ㉑が消灯「測定停止中」ランプ㉒が点灯し「POWER」スイッチ③を「OFF」すれば USB メモリーの取り外しが可能です。
このスイッチはタイミングの関係で2秒程度押し続けないと動作しない場合があります。

- ⑳ [書込中] ランプ
USB メモリーにデータを書込開始すると、ランプが点灯し、書込停止するとこのランプが消灯します。
「測定待機中」ランプ㉑が点灯すれば「POWER」スイッチ㉒を「OFF」すれば USB メモリーの取り外しが可能です。
- ㉑ [測定待機中] ランプ
「開始時刻」スイッチ㉒と「停止時刻」スイッチ㉓の設定時間外にこの「測定待機中」ランプが点灯します。「手動測定」待機中も同様です。
- ㉒ [USB メモリー]
USB メモリーの挿入口です。
- ㉓ [確認窓]
USB メモリー挿入時は確認窓を覗きながらの操作が簡単です。

取扱説明書：自動測定

■（設置・準備・自動測定・書込開始・書込停止・データ転送・再測定）

――設置上の注意・使用上の注意・操作上の注意を必読ください――

- 1 6ページの“装置の組立手順”に従って設置します。
- 2 「騒音設定値」⑪及び「振動設定値」⑫を設定してください。
- 3 [自動測定／手動測定]切替スイッチ⑬を自動測定にし「開始時刻」⑰及び「終了時刻」⑱の時刻設定をしてください。
- 4 [警告灯]スイッチ⑬を設定してください。
- 5 [表示]スイッチ⑭を設定してください。
- 6 [警告灯時間]スイッチ⑮を設定してください。
- 7 [USBメモリー]挿入口⑲へUSBメモリーを確認窓⑳を覗きながら接続してください。
- 8 本器の「POWER」スイッチ⑨を「ON」にし、「100V」ランプ⑧の点灯を確認してください。
- 9 騒音計の画面の月日時刻が表示されていますのでご確認してください。
大幅に違っている場合はP.19を参照し合わせてください。
- 10 電源投入後、表示器が[8888]と[書込中]ランプ㉑が30秒間点灯し、その後[開始・停止・測定待機中・書込中]の各ランプと表示器が[8888]を20秒間点滅し消灯その後「測定待機中」ランプ㉒が点灯、表示器が表示開始、I/O出力端子⑥の各信号が出力されます。
- 11 測定時間帯であれば測定を1分後に、「開始」ランプ⑰と「書込中」ランプ㉑が点灯し測定を開始、測定終了時間までUSBメモリーに記録し消灯します。
測定時間帯外であれば「測定待機中」ランプ㉒が点灯し明日の開始時刻まで待機します。
- 12 その後、[開始時刻]、[終了時刻]を基に測定を行います。

- 13 USBメモリーを装置から抜き取りをする場合は下記の手順をお願いします。
「手動測定／自動測定」スイッチ⑩を「手動測定」に切替、「停止」ボタン⑳を押し20秒後、「書込中」ランプ(23)が消灯「測定待機中」ランプ㉒点灯し、点灯後[POWER]スイッチ⑨を「OFF」すればUSBメモリーの取り外しが可能です。また測定条件の変更も可能です。

◎ データ処理ソフトを立ち上げてUSBメモリーを挿入し、測定データをパソコンに収録します。

◎ パソコンにより印刷作業又はファイル書込作業を実行してください。

お手持ちのPCでUSBメモリーの初期化を行ってください。

- 14 抜き取ったUSBメモリーを再度、USBメモリー挿入口㉓へ確認窓㉔を覗きながら挿入してください。

- 15 再度測定する場合「手動測定／自動測定」スイッチ⑩を「自動測定」に切替ます。「POWER」スイッチ⑨を「ON」すれば、9項10項と同じ動作をし、測定時間内であれば2分後にデータ収録を再開「開始」ランプ⑲と「書込中」ランプ㉑が点灯、測定時間外であれば明日の開始時刻に測定を開始します。

測定データの回収は1ヶ月周期で可能ですが、停電等不慮の事故で測定データが欠損する場合があります、出来る限り1週間程度での測定データの回収をお願いいたします。

USBメモリーの初期化はお手持ちのPCをお願いいたします。

自動測定時、停電（瞬停）が発生した場合その時点でデータの書き込みは停止、復電2分程度経過後、自動的にUSBメモリーに書き込みを再開します。

終了時刻以降に復電した場合、次の日の開始時刻に自動的に書き込みを開始します。

この表示装置のデータは毎正時を基準に10分間刻みの計算結果をメモリーに順次書込しています。

但し、設置時及び手動による停止操作時及び停電時は10分以内での計算値になります。

取扱説明書：手動測定

■（設置・準備・手動測定・書込開始・書込停止・データ転送・再測定）

――設置上の注意・使用上の注意・操作上の注意を必読ください――

- 1 6ページの“装置の組立手順”に従って設置します。
- 2 「騒音設定値」⑩及び「振動設定値」⑪を設定してください。
- 3 [自動測定／手動測定]切替スイッチ⑫を「手動測定」にします。
- 4 [警告灯]スイッチ⑬を設定してください。
- 5 [表示]スイッチ⑭を設定してください。
- 6 [警告灯時間]スイッチ⑮を設定してください。
- 7 [USBメモリー]挿入口⑲へUSBメモリーを確認窓⑳を覗きながら接続してください。
- 8 本器の「POWER」スイッチ⑨を「ON」にし、「100V」ランプ⑧の点灯を確認してください。
- 9 騒音計の画面の月日時刻が表示されていますのでご確認ください。
大幅に違っている場合はP.19を参照し合わせてください。
- 10 電源投入後、表示器が[8888]と[書込中]ランプ㉑が30秒間点灯し、その後[開始・停止・測定待機中・書込中]の各ランプと表示器が[8888]を20秒間点滅し消灯その後「測定待機中」ランプ㉒が点灯、表示器が表示開始、I/O出力端子⑥の各信号が出力されます。
- 11 「測定待機中」ランプ㉒が点灯します。
- 12 「開始」ボタン⑰を押せばランプが点灯し、「書込中」ランプ㉑が点灯、手動測定の開始です「停止」ボタンが押されるまで測定が継続されます。
開始と同時に表示器が表示開始、I/O出力端子⑥の各信号が出力されます。
- 13 USBメモリを装置から抜き取りをする場合は下記の手順をお願いします。
「停止」ボタン㉒を押し20秒後「書込中」ランプ㉑も消灯、「測定待機中」ランプ㉒点灯し、点灯後「POWER」スイッチ⑨を「OFF」すればUSBメモリーの取り外しが可能です。また測定条件の変更も可能です。

- ◎ データー処理ソフトを立ち上げてUSBメモリーを挿入し、測定データをパソコンに収録します。
- ◎ パソコンにより印刷作業又はファイル書込作業を実行してください。

お手持ちのPCでUSBメモリーの初期化を行ってください。

- 14 抜き取った USB メモリーを再度、USB メモリ挿入口⑳へ確認窓㉑を覗きながら挿入してください。
- 15 再度測定する場合「POWER」スイッチ㉒を「ON」にし、9 項 10 項と同じ動作をし、「開始」ボタン㉓を押せばランプが点灯し、「書込中」ランプ㉔が点灯、手動測定の開始です、「停止」ボタンが押されるまで測定が継続されます。

測定データの回収は1ヶ月周期で可能ですが、停電等不慮の事故で測定データが欠損する場合があります、出来る限り1週間程度での測定データの回収をお願いいたします。

USBメモリーの初期化はお手持ちのPCをお願いいたします。

手動測定では停電が発生するとその時点でデータの書込は停止します、復電しても書込は再開しません。再開する場合は「開始」ボタン㉓を押せばランプが点灯し、「書込中」ランプ㉔が点灯、書込を開始します。

この表示装置のデータは毎正時を基準に10分間刻みの計算結果をUSBメモリーに順次書込しています。

但し、設置時及び手動による停止操作時及び停電時は10分以内での計算値になります。

取扱説明書：24時間連続測定

■（設置・準備・24時間連続測定・書込開始・書込停止・データ転送・再測定）

――設置上の注意・使用上の注意・操作上の注意を必読ください――

- 1 6ページの“装置の組立手順”に従って設置します。
 - 2 「騒音設定値」⑪及び「振動設定値」⑫を設定してください。
 - 3 [自動測定／手動測定]切替スイッチ⑬を自動測定にし「開始時刻」⑰及び「終了時刻」⑱の時刻設定をしてください。
 - 4 [警告灯]スイッチ⑬を設定してください。
 - 5 [表示]スイッチ⑭を設定してください。
 - 6 [警告灯時間]スイッチ⑮を設定してください。
 - 7 [USBメモリー]挿入口⑲へUSBメモリーを確認窓⑳を覗きながら接続してください。
 - 8 本器の「POWER」スイッチ⑨を「ON」にし、「100V」ランプ⑧の点灯を確認してください。
 - 9 騒音計の画面の月日時刻が表示されていますのでご確認ください。
大幅に違っている場合はP.19を参照し合わせてください。
 - 10 電源投入後、表示器が[8888]と[書込中]ランプ㉑が30秒間点灯し、その後[開始・停止・測定待機中・書込中]の各ランプと表示器が[8888]を20秒間点滅し消灯その後「測定待機中」ランプ㉒が点灯、表示器が表示開始、I/O出力端子⑥の各信号が出力されます。
 - 11 測定を1分後に、「開始」ランプ⑰と「書込中」ランプ㉑が点灯し測定を開始します。
連続測定を中止する場合は、「自動測定／手動測定」切替スイッチ⑬を「手動測定」に切替、「停止」ボタン㉓を押し20秒後、「書込中」ランプ㉑が消灯「測定待機中」ランプ㉒点灯し、点灯後「POWER」スイッチ⑨を「OFF」すればUSBメモリーの取り外しが可能です。また測定条件の変更も可能です。
- ◎ データー処理ソフトを立ち上げてUSBメモリーを挿入し、測定データをパソコンに収録します。

◎ パソコンにより印刷作業又はファイル書込作業を実行してください。

お手持ちのPCでUSBメモリーの初期化を行ってください。

- 12 抜き取った USB メモリーを再度、USB メモリー挿入口⑳へ確認窓㉑を覗きながら挿入してください。
- 13 再度測定する場合「自動測定／手動測定」切替スイッチ㉒を自動測定にし「POWER」スイッチ㉓を「ON」にし、9 項 10 項と同じ動作をして、「開始」ランプ㉔が点灯「書込中」ランプ㉕が点灯すれば測定の開始です、「停止」ボタンが押されるまで測定が継続されます。

測定データの回収は1ヶ月周期で可能ですが、停電等不慮の事故で測定データが欠損する場合があります、出来る限り1週間程度での測定データの回収をお願いいたします。

USBメモリーの初期化はお手持ちのPCをお願いいたします。

24時間連続測定時、停電(瞬停)が発生した場合その時点でデータの書き込みは停止、復電後2分程度経過し、自動的にUSBメモリーに書き込みを再開します。

24時間連続測定になっていますが、騒音計の時刻校正のため、毎日23:50に一旦測定を自動停止し時刻校正後00:00から測定を自動開始します。この10分間、測定データは収録されません、注意・確認をお願いします。

この表示装置のデータは毎正時を基準に10分間刻みの計算結果をUSBメモリーに順次書込しています。
但し、設置時及び手動による停止操作時及び停電時は10分以内での計算値になります。

■ 自動測定→手動測定の切替

自動測定から手動測定に切り替えると「開始」ランプ⑳が点灯のまま測定を継続できます。

■ 手動測定→自動測定の切替

現在手動測定中で「開始」ランプ㉑と「書込中」ランプ㉒が点灯中であり、自動測定に変更する場合は、「停止」ボタン㉓を押し「書込中」ランプ㉒が消灯し「測定待機中」ランプ㉔が点灯した後に「POWER」スイッチ㉕を「OFF」にし「AC100V」パイロットランプ㉖の消灯を確認してください。

次に「開始時刻」㉗及び「終了時刻」㉘の時刻設定をし「自動測定／手動測定」切替スイッチ㉙「自動測定」に切り替えます他に変更する項目があれば変更してください。

「POWER」スイッチ㉕を「ON」すれば約2分後に「自動測定」の開始です。

「開始」ランプ㉑と「書込中」ランプ㉒が点灯します。

この「開始」「停止」スイッチはタイミングの関係で2秒程度押し続けないと動作しない場合があります。

この変更している間、測定データは収録されていません。

測定時間外に変更の場合は翌日の開始時刻に開始します。

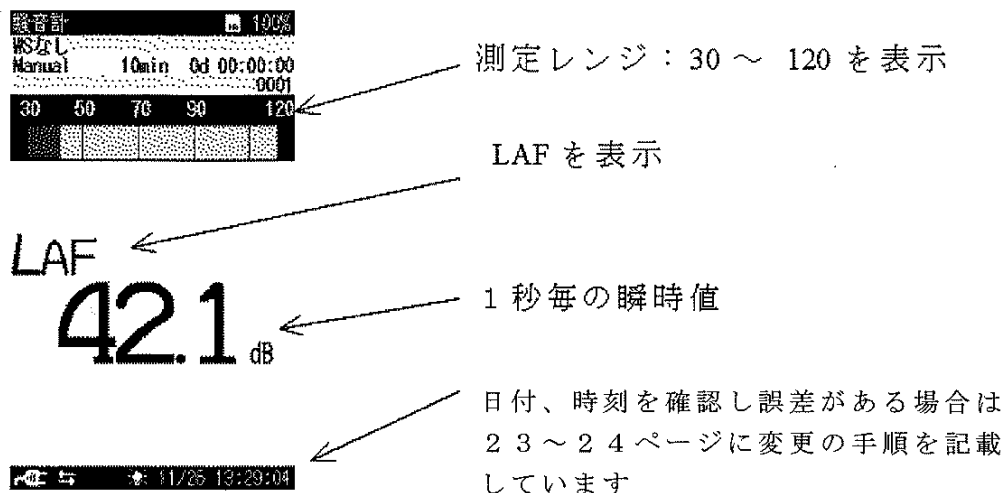
■ 時刻情報収録について

- * 騒音計からの時刻情報で装置内部の CPU を校正し測定開始の基準時刻とします。
- * 24時間連続測定時:
騒音計の時刻情報で装置内部の CPU を校正し測定開始の基準時刻とします。
その後は 23:50～59 分の間に騒音計から時刻を更新していきます。

■ 各機器の初期値設定及びケーブル接続

■ [普通騒音計]

装置の [POWER] スイッチ⑩を [ON] にすると、下記の画面表示になります。



本器の [POWER] スイッチ⑩が [ON] だと常時この画面になっています。

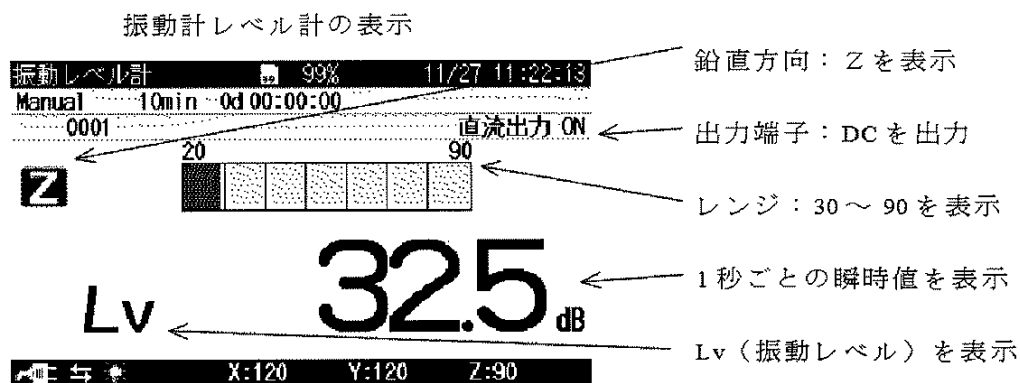
- ・ 騒音計本体の底面から電源ケーブル・DC出力ケーブルと通信RS232Cケーブルが出ています。

※ 騒音計本体の瞬時値と装置の瞬時値が大幅に違う場合は初期値が変わっています
騒音計を操作して
フルスケールレンジ：120
周波数重み特性：A
時間重み特性：Fast
に合わせ下さい

※騒音計の時刻が合っているのに、正常にスタートしない場合
騒音計の設定を操作して
入出力設定の通信関係の設定を
直流 (DC) 出力
RS-232C
ボーレート：19200
に合わせ下さい

■ [振動レベル計]

装置の [POWER] スイッチ⑩を [ON] にすると、下記の画面表示になります。



本器の [POWER] スイッチ⑩が [ON] だと常時この画面になっています。

- ・ 振動計本体の右側面から外部電源ケーブルと DC 出力ケーブルが出ています。
- ・ 振動計本体の瞬時値と装置の瞬時値が大幅に違う場合は初期値が変わっています

振動レベル計を操作して
 フルスケールレンジ：90
 周波数重みづけ特性：Z
 出力端子：DC
 に合わせ下さい

総合仕様

使用機器	積分型普通騒音計 (検定付き) 1010 リオン社製 振動レベル計 (検定付き) VM-55 リオン社製
データ書込範囲 (USB メモリ)	普通騒音計 30 ~ 130dB (レンジ最大: 120dB) 振動レベル計 20 ~ 99dB (レンジ最大: 90dB)
LED 表示範囲	普通騒音計 20 ~ 99dB 2桁表示 振動レベル計 20 ~ 99dB 2桁表示
演算結果値	Leq、Max、L05、L10、L50、L90、L95、Min などの統計値を 10 分間値のデータを 1 データとして USB メモリに収録します 但し、設置時の開始時や手動測定時の停止時はこの限りではありません。
演算サンプリング周期	100ms (Leq、Lmax、Lmin、LE、LN)
データ書込時間	10 分間演算値 24 時間連続書込可能
測定開始・終了	制御パネル上のサムロータリースイッチで設定
周波数重み特性	普通騒音計 A 特性 振動レベル計 鉛直 LV 特性
I/O 出力端子	子機 / P C 接続用、騒音・振動の 1 秒毎の瞬時値を RS422 で出力、信号ケーブルは 1000m まで延長できます。 通信ボーレート: ビット / 秒; 4800、データビット; 8、 パリティ; なし、ストップ; 1 ビット フロー制御; ハードウェア
警報出力	騒音・振動が設定値を超えると DC24V が出力されます 信号が直ちに設定以下になれば 10(5)秒後に電圧出力は停止 します。継続して設定値を超えている場合はその間、電圧を 出力し続けます。
警報周期	10 秒 / 5 秒切替
表示周期	1 回 / 1 秒
表示器	超高輝度 赤色 LED、文字高さ 98mm
使用温湿度範囲	0 ~ 45 °C、0 ~ 85 % RH 以下
保存温湿度範囲	-10 ~ 55 °C、0 ~ 85 % RH 以下
本体ケース	上部より防滴構造
供給電源	AC100V、80VA
外形寸法	本体 460 (w) × 500 (h) × 220 (d) mm
重量	本体 約 10Kg

構 成 品	本 体 (騒音計・振動レベル計付き)	1 台
	データ収録用USBメモリー	1 枚
	マイクロホンケーブル 5m	1 本
	ピックアップケーブル 3m	1 本
	全天候型防風スクリーン(単管アダプタ金具付)	1 個
	取扱説明書	1 部
	付属品箱	1 個
	データ管理ソフト (CD・取扱説明書) ※動作認証用プロテクトUSBキー付き	1
オプション	ピックアップカバー	
	子機表示器(スクリーン仕様、屋外用) P.32・33 参照	
	子機表示器(単管仕様、屋外用) P.34 参照	

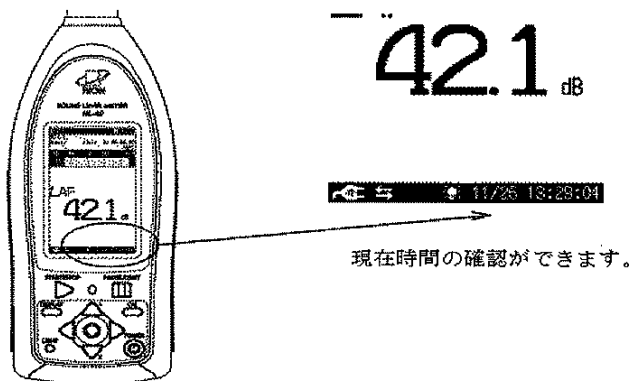
故障？

- 測定時間なのに測定を開始しない。又測定を早く開始する。

確認：騒音計（NL42 or 1010）の時刻がずれていませんか

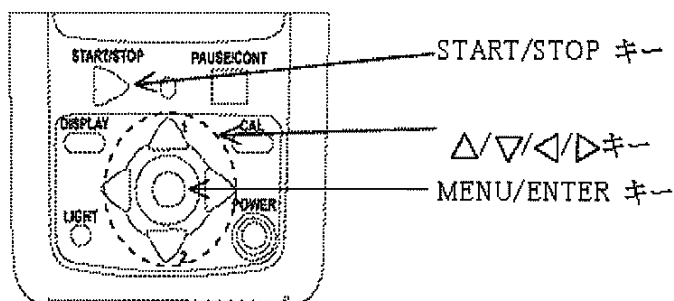
対応：下記の手順で確認、修正してください。

時刻の確認：メイン画面右下に表示されています。



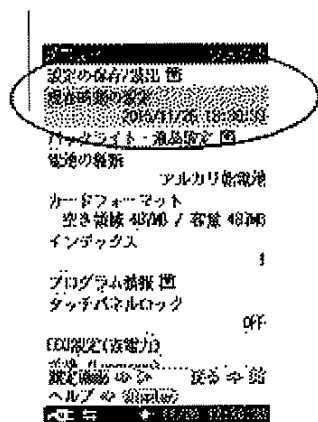
時刻の修正方法

1. MENU/ENTER キーを押してメニューリスト画面を表示させます。
2. $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ キーで[システム(Language)]を選択して、MENU/ENTER キーを押します。システム画面が表示されます。



メニューリスト画面

3. $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ キーで[現在時刻の設定]を選択して、MENU/ENTER キーを押します。時刻の設定画面が表示されます。
4. $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ キーで変更する[年]、[月]、[日]、[時]、[分]、[秒]を選択します
5. $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ キーで数値を変更します。



システムメニュー画面



現在時刻設定画面

6. 手順4、5 を繰り返し、全ての変更が終了したらMENU/ENTER キーを押します。
設定した年月日時分秒が本体の内蔵時計にセットされます。
7. START/STOP キーを押して測定画面に戻ります。

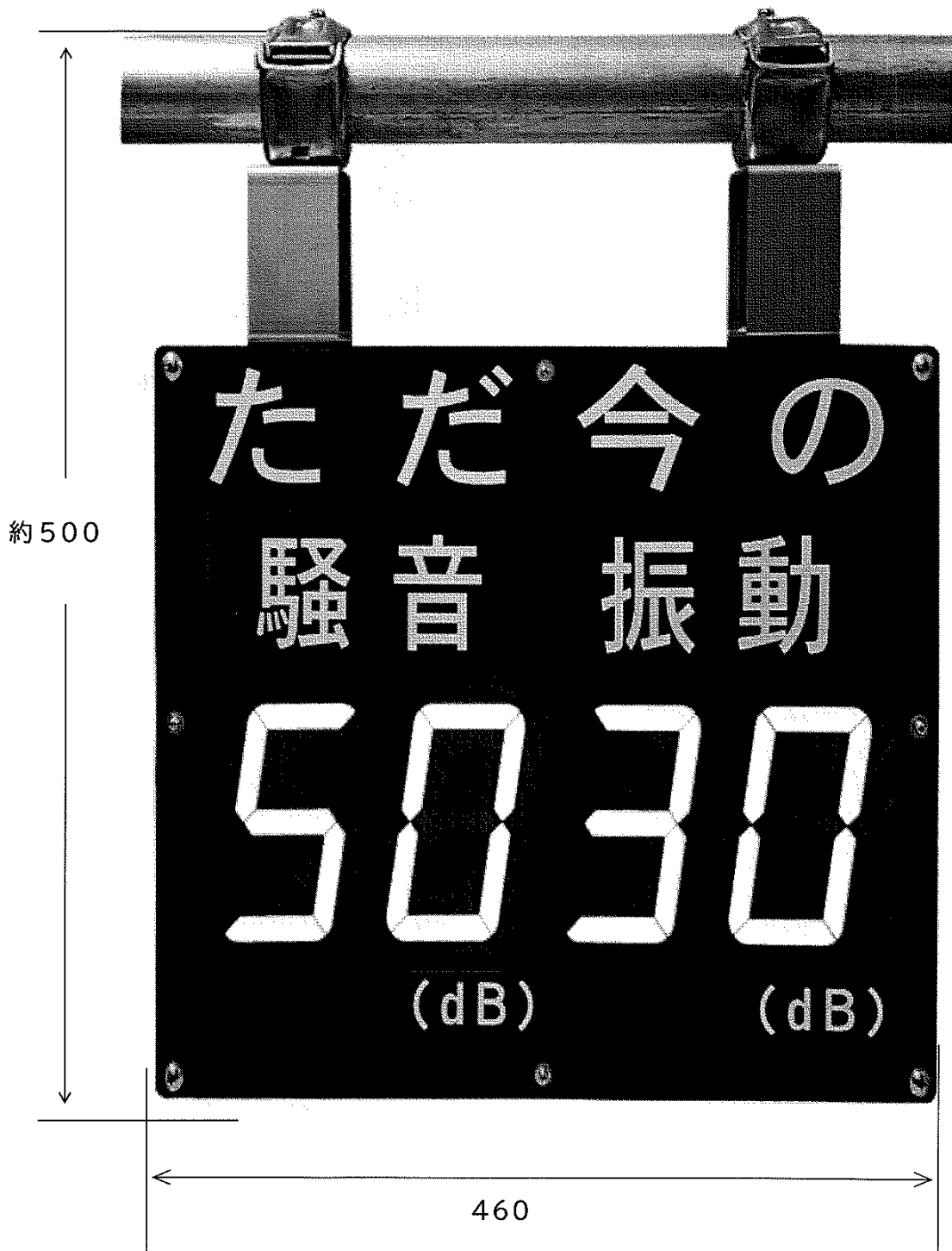
■ 測定時間なのに測定を開始しない。

本体の開始時刻・終了時刻のデジスイッチに接触不良気味になっているかも・・・
デジスイッチを全て2周程押して下さい。
その後に本体の電源を再投入して下さい。
デジスイッチの接触不良が直れば、正常動作になります。

■ 測定時間内なのに「開始」ランプは点灯しているが「書込中」ランプが点灯しない。

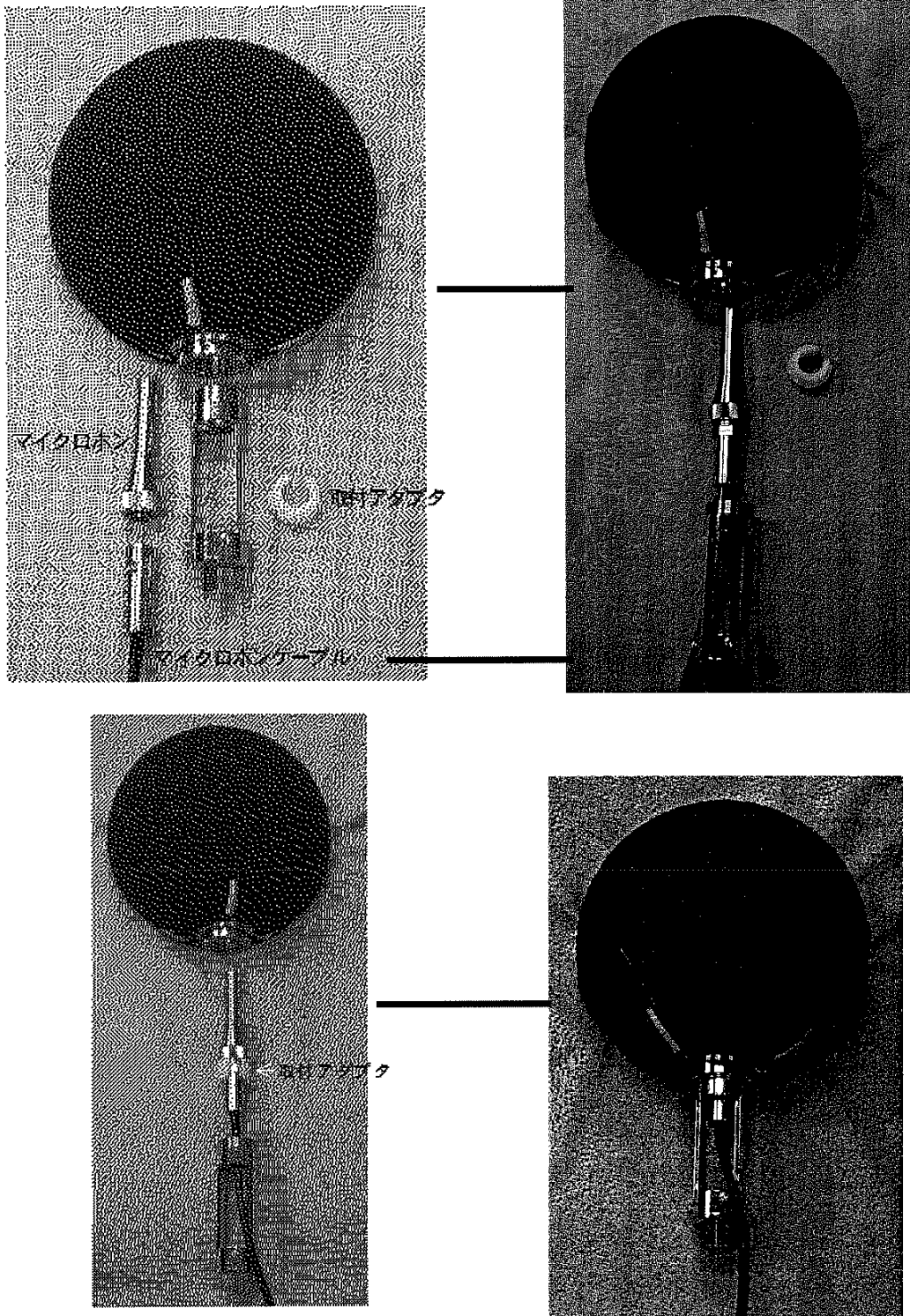
データ収録用 USB メモリカードが正しく挿入されていますかご確認ください。
※管理ソフトプロテクトキー用 USB (緑色) を差さないで下さい。

表示装置（本体）外観図

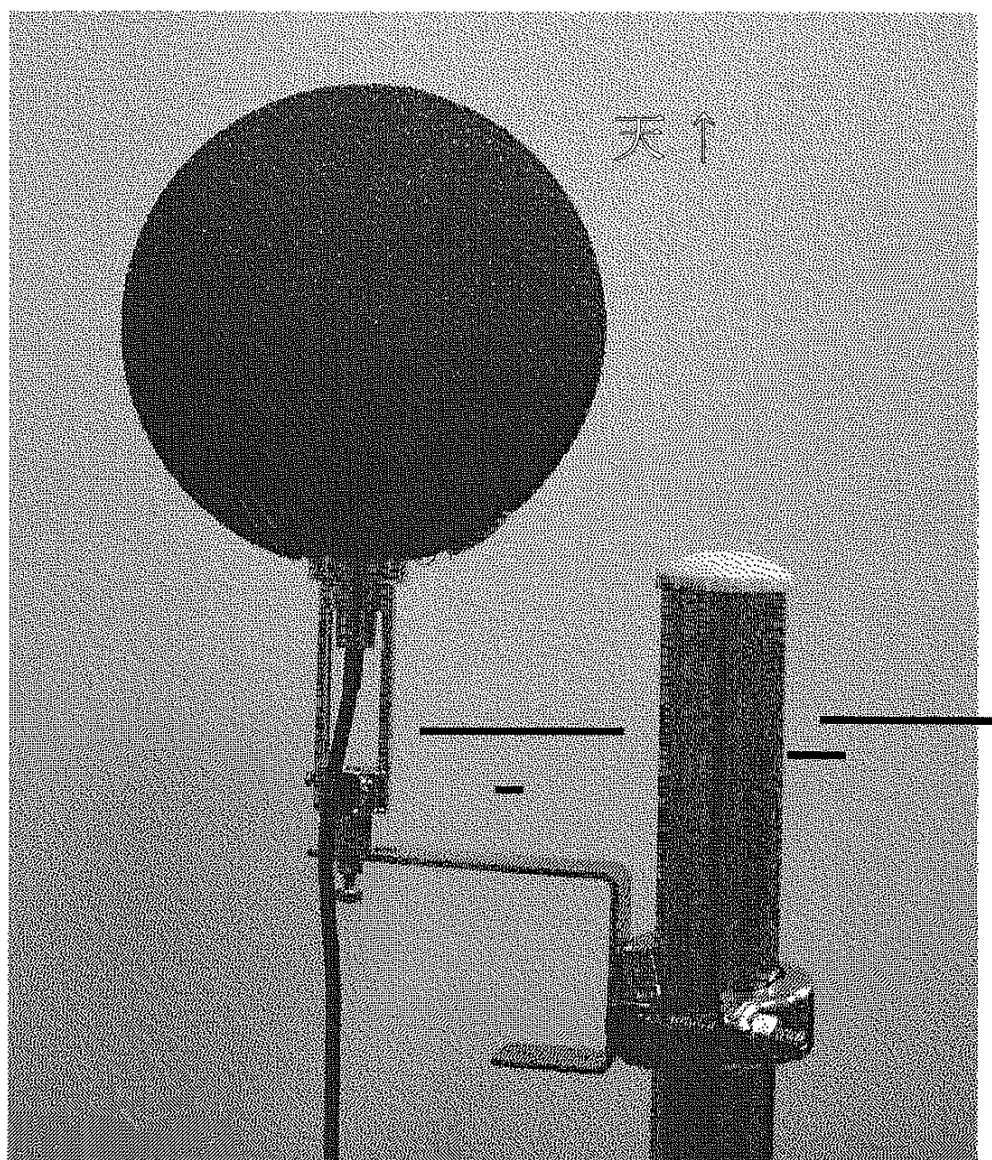


奥行(厚さ)220mm

全天候防風スクリーン組立図（リオン社製）



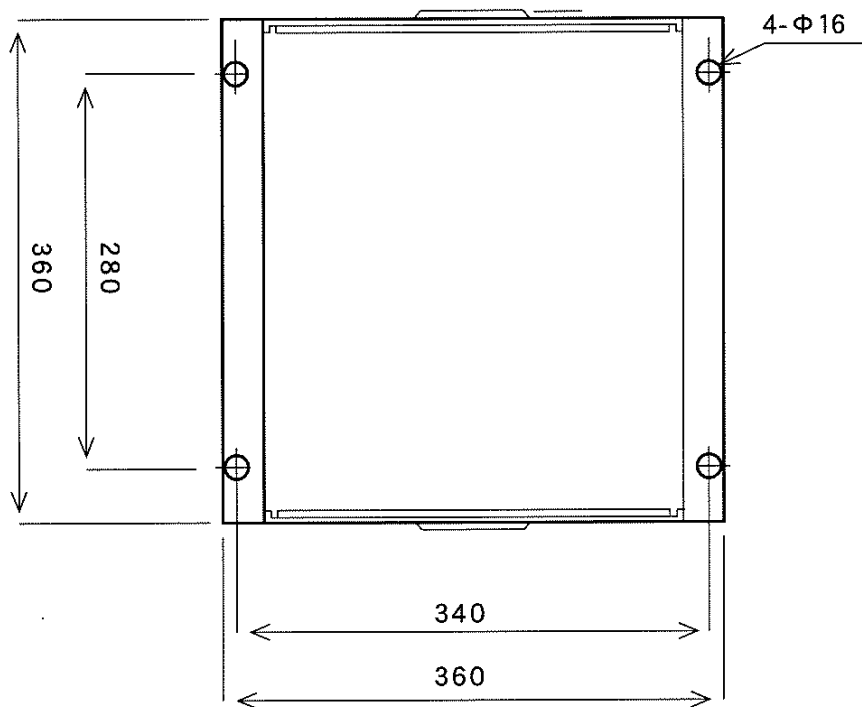
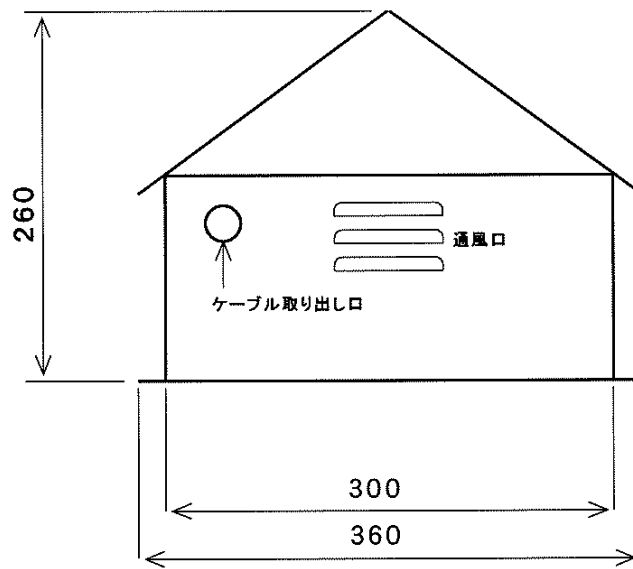
単管アダプタによる全天候防風スクリーン取付図（WS03）



全天候防風スクリーンは“天”に向けて固定してください。

取付上の注意：横向き、下向きに設置されますと雨が侵入しマイクの故障の原因となります。

ピックアップカバー（オプション）外観・寸法図

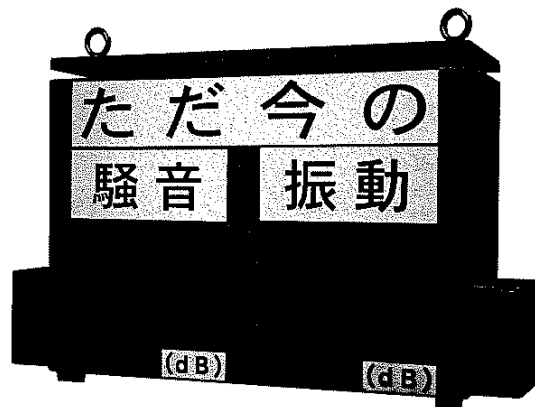


材質：SUS 1.0mm

【オプション】

子機表示器（屋外用） 仕様／外観図

型式：SVI-212

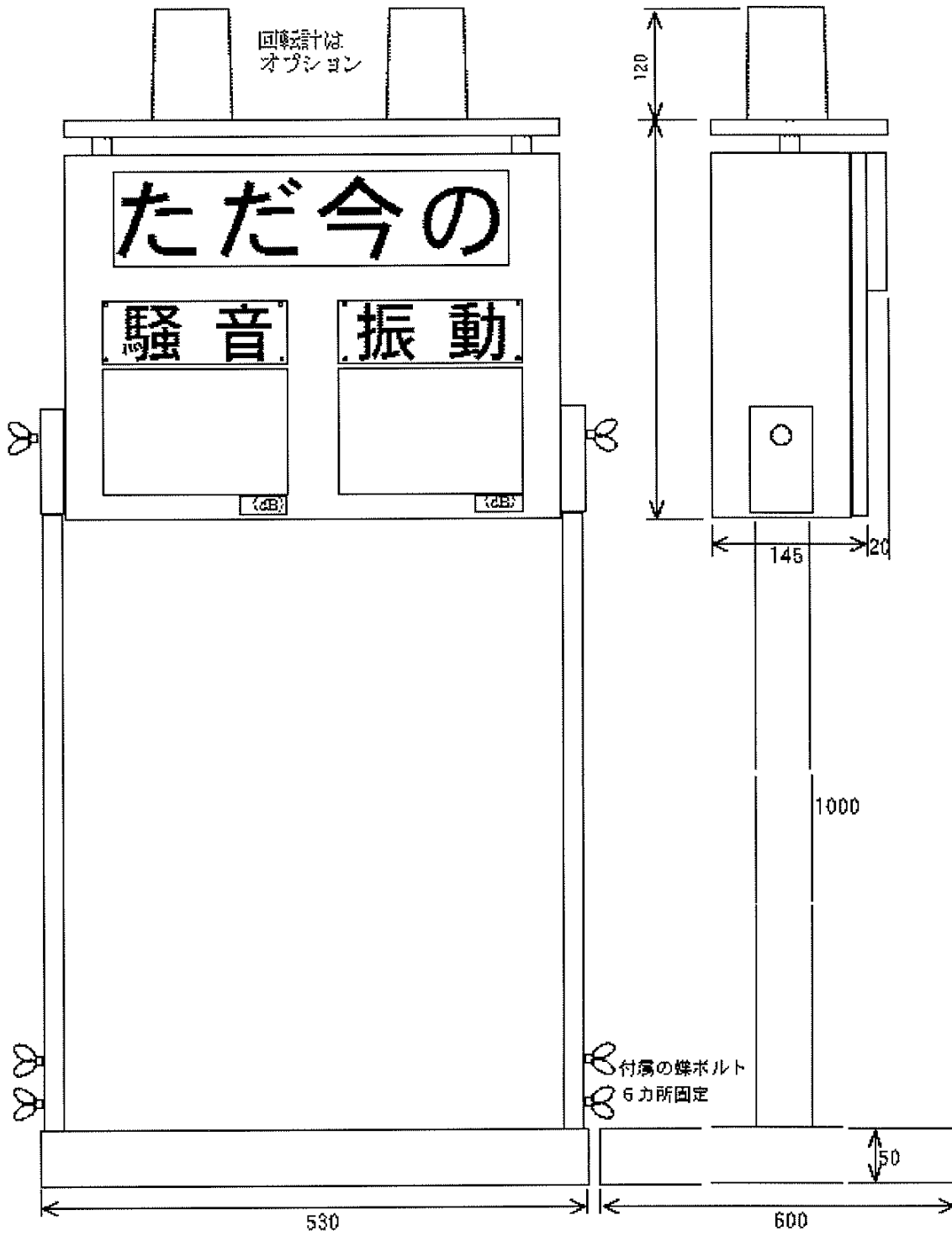


表示周期	:	1秒／1回
文字色・高さ	:	高輝度LED赤色、高さ98mm
外形寸法	:	回転灯無し 530(w)×325(h)×165(d)mm 回転灯付き 530(w)×445(h)×165(d)mm
装置全体寸法	:	次ページ参照してください
重量	:	本体のみ 12kg スタンド含む 36kg
使用温湿度範囲	:	0～45℃、0～85RH以下
保存温湿度範囲	:	-10～55℃、0～85RH以下
供給電源	:	AC100V 25VA
オプション	:	天板に回転灯を取付できます（騒音、赤・振動、緑）

【オプション】

子機表示器（屋外用） 装置全体外観図

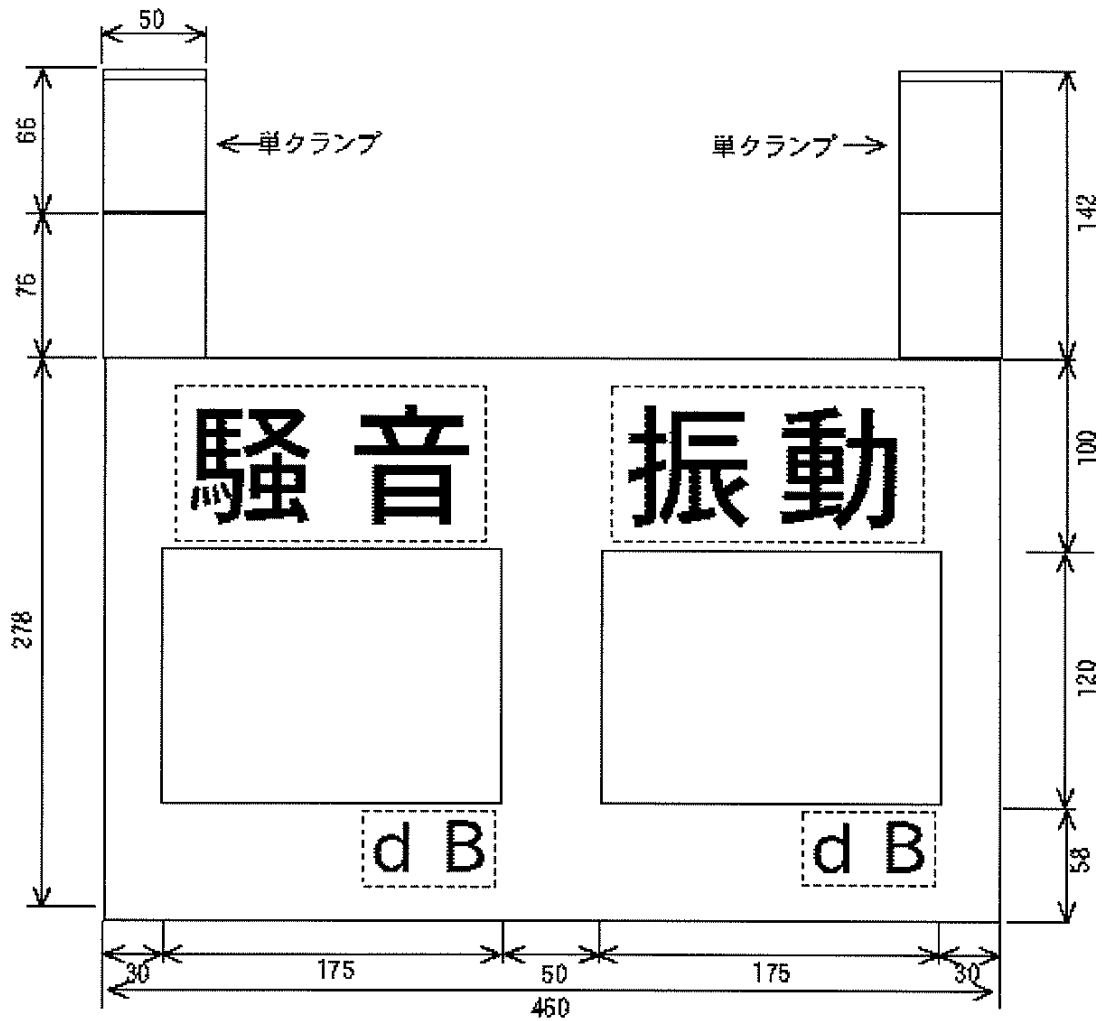
型式：SVI-212



【オプション】

子機表示器（単管仕様、屋外用） 装置全体外観図

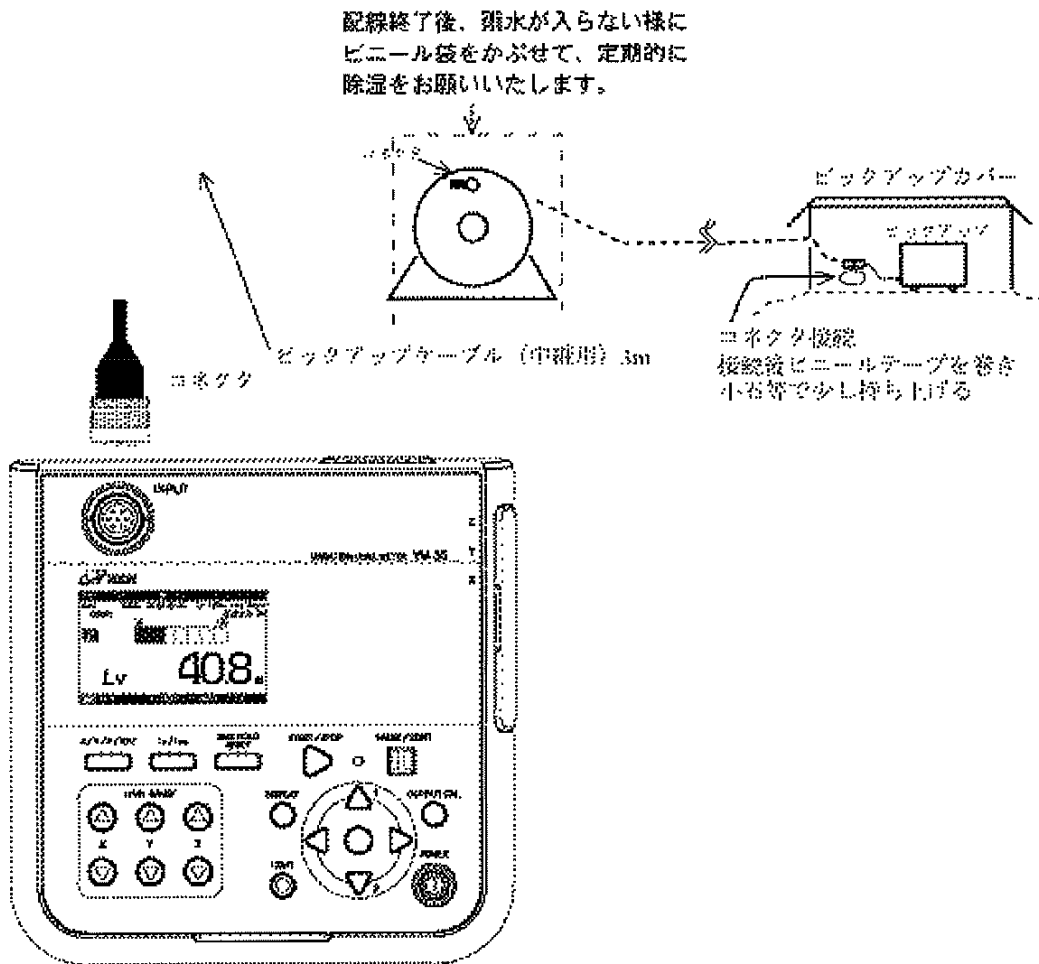
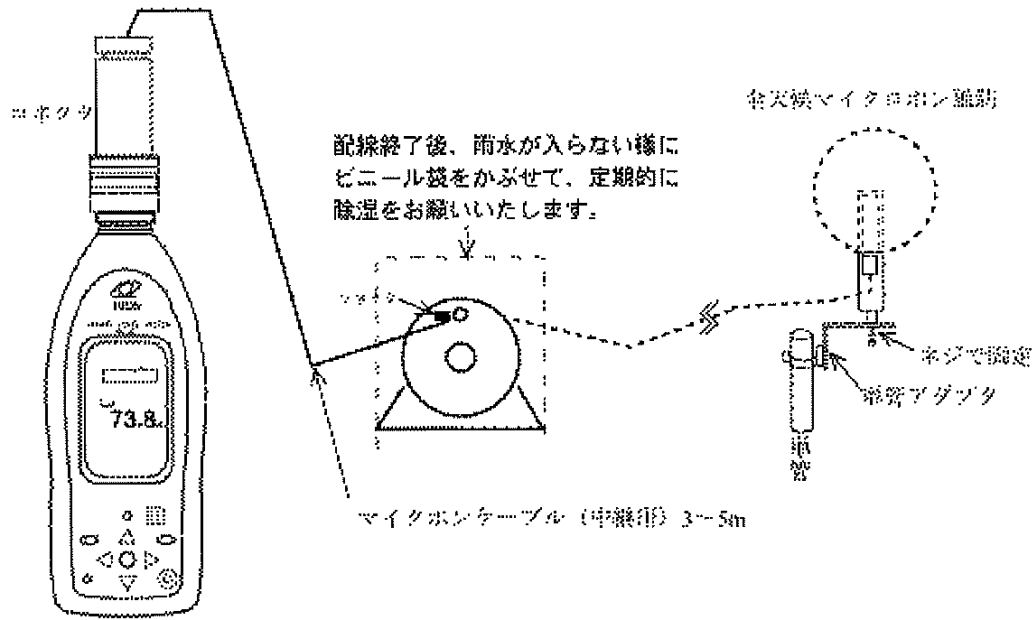
型式：SVI-270



突起物を含まず、奥行き135mm

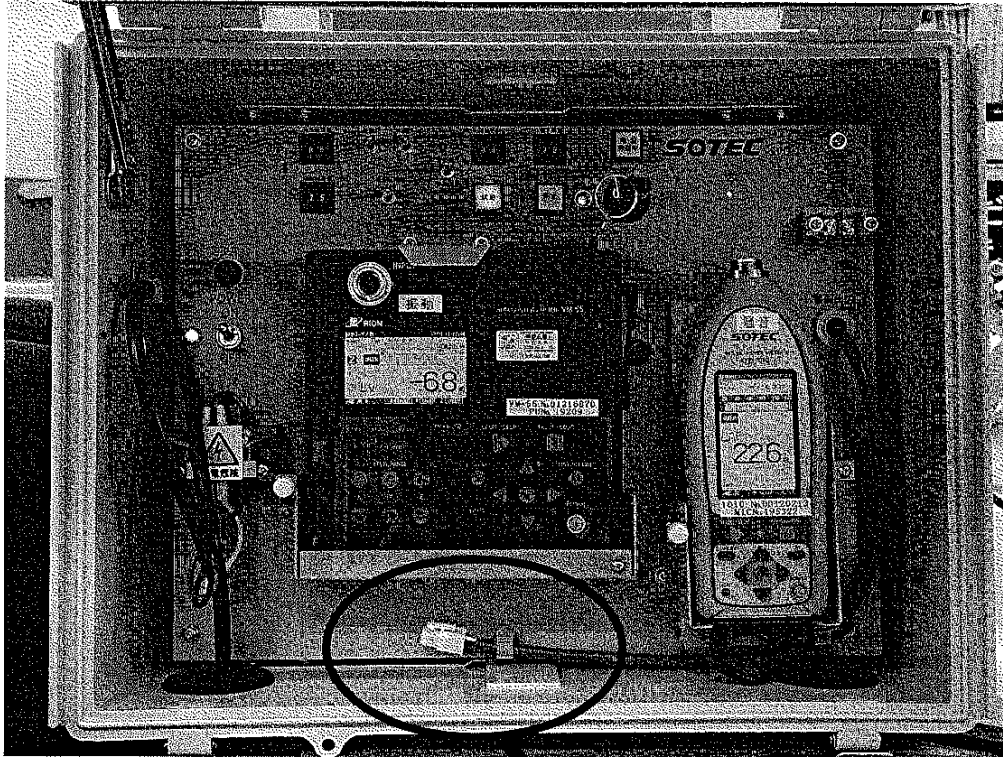
- 表示周期 : 1秒 / 1回
- 文字色・高さ : 高輝度LED赤色、高さ 98mm
- 重量 : 8kg
- 使用温湿度範囲 : 0 ~ 45℃、0 ~ 85RH以下
- 保存温湿度範囲 : -10 ~ 55℃、0 ~ 85RH以下
- 供給電源 : AC100V 25VA


マイクロホンケーブル、ピックアップケーブルのドラムによる延長方法

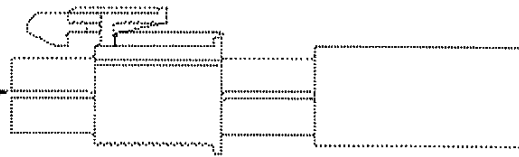


振動計VM55 ※ピックアップケーブル3m：型式EC-54S

警報端子：騒音・振動



白 (騒音) (+) DC24V		黒 (騒音) (-) 0V
赤 (振動) (+) DC24V		緑 (振動) (-) 0V

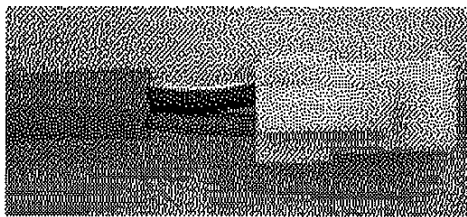


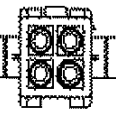
本体側

タイコエレクトロニクス製
型番：172167-1

受け側ケーブルは、

回転灯等へ



黒 (騒音) (-) 0V		白 (騒音) (+) DC24V
緑 (振動) (-) 0V		赤 (振動) (+) DC24V

タイコエレクトロニクス製
型番：172159-1

